

起業に挑む

キャンパスベンチャーグランプリ受賞者 ①

日刊工業新聞社は国内産業の活性化を願い、99年に大学生による優れた起業家プランを表彰する「キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)」制度を創設した。大阪を皮切りに東京や名古屋など全国8地域で事業を展開し現在、受賞者による起業数は11社に達する。この中には実際にヒット商品を産み出し、売り上げを伸ばしているベンチャーが少なくない。今回、そうした先行事例を紹介する。



安達さん

安達宏昭さん(01年度受賞、大阪大学)の受賞テーマは「新薬開発に必要な高品質たんばく質結晶の育成技術」。05年7月には、たんばく質や医薬候補化合物である有機低分子の結晶化を受託する創晶を設立し、社長に就任した。

受賞テーマの比重の異なる液体の界面で結晶を育成する「2液法」は06年11月に特許が成立。同社にはレーザー核発生、

たんばく質が27件で結晶化成功率67%、低分子が18件で同89%と高い実績を誇る。

ただ、安達社長は技術ある顧客は創晶で無理なら結晶化をあきらめると話すなど、信頼は厚い。「いずれ、初めから結晶化は創晶という流れにしたい」(安達社長)と志は高い。

有機低分子を結晶化

毎週、顧客に経過報告

攪拌など結晶化の独自技術ある。結晶化受託は、顧客側で結晶化できない難易度の高い依頼がくるためノウハウも蓄積される。06年秋の実績では、

を誇るより顧客サービスの実実を目指している。例えば、従来他社の結晶化受託事業では経過報告もなく、1カ月後に結果が届く不満がユーザーにあった。同社は顧客に週報を送って経過を知ら

創晶

せ、結晶化した時は電話連絡するなど顧客満足度向上に努めている。

▽大阪市中央区、06・6877・5659、www.so-sho.jp▽資本金15530万円▽売上高11億円(07年6月期見込み)

日刊工業新聞 2007年1月12日付
「起業に挑む!キャンパスベンチャーグランプリ受賞者-創晶」
の記事より転載許可を受けて掲載。
本記事の著作権は日刊工業新聞に帰属します。
本記事の改変、他への転載は、これを一切禁じます。